

第10回（2022年度）学校関係者評価委員会報告書

学校法人 立志舎
 専門学校日本動物21
 学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和3年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 第10回（2022年度）学校関係者評価委員会

<委員>（五十音順）

牛込 清孝 氏 立志舎高等学校 事務長
 川口 雅章 氏 一般社団法人全国ペット協会 常務理事
 北村 啓 氏 株式会社荏谷動物病院グループ 管理部人事労務課長兼総務課課長
 近藤 大 氏 株式会社 Dog Nit's 代表取締役社長

<事務局>

水野 孝 校長
 早川 公善 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p>イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか</p> <p>学校の目標は、「本学は、教育基本法および学校教育法に基づき、動物に関する専門知識、職業遂行に必要な知識および人間と動物が共生できる確かな技術を受け、併せて豊かな人間性を養い、社会に貢献しうる有能な人材を育成することを目的とする。」とあるが、教育目標については、学則に記載したうえで、設置認可先である東京都に届け出ている。職業実践専門課程認定に伴い、ホームページに基本情報として情報公開している別紙様式4に記載しており、学外にも広く公表している。また、学園の基本目標として、「学生から信頼され支持される学校づくり」を掲げ、受付や教務室、就職相談室などにも掲示し、教職員一丸となって取り組んでいる。これら、理念・目的・育成人材像は教職員には周知徹底しており、入学希望者にはオープンキャンパス等でわかりやすく説明している。</p> <p>ロ. 学校における職業教育の特色は何か</p> <p>本学は独自の教育システムである「ゼミ学習」を導入している。この「ゼミ学習」を通して、動物およびビジネスに関する資格を取得し、実習を行うことにより幅広い知識や技能を身に付け、動物業界のみならず異業種企業にも就職している。</p> <p>「ゼミ学習」については、新型コロナウイルスの影響が出る前のように活気あふれる状態にまでは至っていないが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を十分に講じて実施した。本学は、学生一人一人の将来を真剣に考えながら、</p>

	<p>学生一人一人とコミュニケーションを取り、学生一人一人を大切にしている学校である。引き続き、学生一人一人の将来に対する可能性を見だし、学力面、性格面を見ながら一人一人に対して丁寧に親身に指導し、学生全員がきちんと就職できるように指導していく。</p> <p>ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか</p> <p>これらは、学則第1条に規定しており、「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標として教職員一丸となって学校運営に取り組んでいる。</p> <p>ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</p> <p>学園行事では体育祭を実施することができたが、学園祭、球技大会は中止とした。しかしながら、明るく楽しい学園生活と資格取得実績、動物系企業をはじめとする民間企業への就職実績を両立することができた。</p> <p>基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の質問及び意見があった。</p> <p>(1) 昨年度中は、新型コロナウイルスの影響があったかと思うが、授業はどのように行っていたのか。</p> <p>【回答】 新型コロナ感染症対策のため、分散登校やオンライン授業、実習においては人数制限を設けて行う時期もあった。オンライン授業では一方通行になりやすいので、チャット機能を利用し、質問を受け付けたり、小テストを行ったり、双方向授業になるように行った。現在は、コロナ感染症対策をしっかり行いながら対面授業のみで行っている。学生の日々の体調チェック、実習の際には不織布マスク、昼食は黙食の指導も行っている。また、学生が使用する机や椅子、教室のドアノブなどは1日に2～3回消毒を行っている。</p> <p>(2) 「ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか」について、毎年評価が変わらないがなぜか。</p> <p>【回答】 学園の基本目標を学則に規定しているとはいえ、保護者に周知できていないと考えている。</p> <p>(3) 本校では、成績通知の際に、保護者向けの連絡事項などを同封している。貴学でも年に数回、保護者向けの通知を行っていると言われているが、学園の基本目標、育成人材像を記載した通知同封をしてみたら良いと思う。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか</p> <p>本学では「学生から信頼され支持される学校づくり」を学園の基本目標としており、この学園の基本目標は、以前より繰り返し教職員に伝えており、教務室、事務室、就職相談室などに掲示している。</p> <p>ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか</p> <p>運営組織図があり、それに従って運営されている。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に</p>

	<p>整っている。この運営組織や意思決定機能は効率的なものになっている。</p> <p>ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか</p> <p>人事や賃金での処遇に関する制度については、採用制度、昇進・昇給制度、賃金制度、人事考課制度が整備されている。</p> <p>ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか</p> <p>日常的な意思決定は、管理職が行っている。学校間の調整は企画本部または学園協議会で行っており、理事会、学園協議会、責任者会議、課会議、動物戦略室といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしており、意思決定システムは確立されているといえる。今年度はさらに細分化した体制となっている。ZOOMによるオンライン会議も行っているが、徐々に対面での会議を復活している。</p> <p>ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか</p> <p>資格取得、就職および明るく楽しいキャンパスライフの3本柱を追求することにより「学生から信頼され支持される学校づくり」が実現している。就職実績は、入学案内書などで情報公開し、オープンキャンパス等で入学希望者に配布している。また、信ぴょう性を確保するために本人の了承を得て合格者情報に氏名・出身校名を載せているので、志望者や保護者の方の判断にも役立つと思われる。</p> <p>ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか</p> <p>情報システムについては、学務システム（入試システム及び学籍管理システム）、経理システムを個々に運用している。仮想プライベートネットワーク（VPN網）を全拠点で結び、セキュリティを強化して運用している。全教職員にパソコンを貸与し、学生に対しては Microsoft365 アカウントを付与し、オンライン授業等行える環境を整えている。情報共有の効率化並びに業務改善に取り組んでいる。</p> <p>基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか</p> <p>教育理念等に沿った、各学科の目的を達成するために、カリキュラムは、学科で目標とする資格の取得および社会のニーズに対応するために、必要な科目を体系的に編成している。その際、年2回開催する教育課程編成委員会での外部委員の意見を参考に、カリキュラム作成委員会において社会のニーズに対応するために、必要な科目を体系的に編成している。また、カリキュラム会議において、定期的に見直しを行っている。</p> <p>ロ. 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか</p> <p>本学の学習スタイルは、各業界、各職種に対応する専門的な知識を確実にするばかりでなく、積極性、協調性、表現力、コミュニケーション能力などの人間性をも涵養している。各コースとも動物に関する知識・技術および社会人として必要なビジネスマナーを体系的に組んでおり、修業年限で、業界が求めるレベルに到達することを可能にしているといえる。</p> <p>ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか</p>

カリキュラムは、インターンシップ先や、学内就職セミナー等で得た意見や、年2回開催する教育課程編成委員会での意見を参考に、カリキュラム作成委員会を行って反映させている。

ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

専門科目以外にビジネスマナー、就職ゼミナールなどの科目を設置している。また、新入生就職セミナーや企業の人事担当者を招く学内就職セミナー等では、求められる人物像などの説明を直接学生にさせていただき、学生の就職先から一定の評価を得ており、毎年求人をお願いしたり、採用されていることから判断できる。しかしながら、引き続き教育内容や指導方法についての検証は必要であると考えます。

ホ. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか

1年次には、約1週間、必須単位としてのインターンシップを企業等と連携しながら行っている。また、入学時及び年間を通して、定期的に企業と連携した講習会を行っている。

ヘ. 授業評価の実施・評価体制はあるか

授業運営の適否を判断し、授業システムの見直しをするため、学生による授業評価アンケートを実施するとともに、教育課程編成委員会での外部委員の意見を取り入れている。また、学生相談室を設置して学生の声を聞いている。普段から他の教員の授業も教室に入って見学している。

ト. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか

成績評価および単位認定は、学則および専門課程便覧に基づき、9月と3月の年2回、厳正に行っている。学生には入学式および授業初日にも説明をしている。また、GPA算定をするため、システムを導入している。

チ. 資格取得の指導體制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

コース毎に目標とする資格を明確に定め、その取得がより確実になるようなカリキュラム編成をしている。2022年度から新学科と新コースがスタートした。

リ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

ヌ. 職員の能力開発のための研修等が行われているか

人材育成目標に向け授業を行うことができる教員として、専門性、人間性、教授力、必要資格等の諸要件を備えた人材の確保はできている。また、教員の専門性や教授力等を常にレベルアップするため、年間を通じ自己啓発研修を実施し、教員個々のレベルアップを図っている。さらに、企業等との連携により最新の動向を取り入れる研修を行っている。

基準3についての自己評価は委員の方々から「適正」であると評価され、次の質問及び意見があった。

(1)採用担当者としての立場から質問したい。愛玩動物看護師の国家資格化により、

	<p>他校でも新たに愛玩動物看護師を養成する学科がスタートしているが、他校との差別化はできているか。</p> <p>【回答】愛玩動物看護師を目指す学科の学生であってもグルーミングの技術に特化した学生を育成していく。他校ではダックスなど非カット犬種のグルーミング技術の修得は行っているが、本学ではカット犬種の代表であるトイプードルのトリミング技術を持った獣医療従事者を育成していく。また、院内コミュニケーションを充実させていく。具体的には、家庭犬の受入れを学生に担当させることで、実践的なコミュニケーション能力を養う。さらに資格の合格率の高さは、他校との差別化になると考えている。</p> <p>(2) ドッグトレーナーにおいても、社会性のあるコミュニケーション能力が必要であり、飼い主様の心をつかむことが大事である。貴学で実践的に行っている学生による家庭犬の受け入れは、とても良い実践の場となるはずである。また、今年度再開される東京都公園協会との連携による、「近隣住民向けの学生によるしつけ方教室」の開催は素晴らしい活動だと思う。私も力を貸したい。</p>
<p>基準4 学修成果</p>	<p>イ. 就職率の向上が図られているか</p> <p>本学は、就職担当者と担任が連携を取りながら、企業様等を訪問して求人開拓をしている。また、毎週内定集計を行いその結果を前年度と比較して推移を把握しており、同時に就職部が学園全体も把握し、学園内各校とも比較している。</p> <p style="text-align: center;">＜就職実績の報告があった。＞</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>学園内の各校と定期的に資格取得率向上のカリキュラム会議を開き、試験内容に変更がある場合には、その内容にすぐに適応できるように体制を整えている。また、本学独自のゼミ学習を行うことにより力をつけ、合格実績を上げている。</p> <p style="text-align: center;">＜資格取得実績の報告があった。＞</p> <p>ハ. 退学率の低減が図られているか</p> <p>退学のおそれがある者、学業に悩みがある者等を早期に見出し、その学生には担任から働きかけ、その原因を取り除き解決に導く等の指導をしている。万が一退学者が出た場合でも、退学・休学の理由・経緯についてもきちんと把握している。</p> <p>基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の質問及び意見があった。</p> <p>(1) 「ハ. 退学率の低減が図られているか」について、退学の恐れのある学生などをどのように早期に見出しているのか。</p> <p>【回答】まずは、無断欠席した学生には、その日のうちに担任から連絡を取るようになっている。さらに欠席が3日続くと、同学年の教員による面談（例えば「担任が男性の場合は、女性教員が面談を行う。」などアプローチを変えた面談の実施。）を行っている。改善が見られない時には、上席教員による面談を行うようになっている。また、日常コミュニケーションチェック表を導入している。これは、担任が学生とのコミュニケーションの状況を6段階で評価しており、毎日記録して、</p>

	<p>可視化することで、コミュニケーション不足の学生には、上席教員もサポートを行うようにしている。</p> <p>(2) 退学の状況は前年と比べてどのようになっているか。新型コロナウイルスの影響はあったのか。</p> <p>【回答】「精神的な理由」で退学するケースが多くなっている。中学・高校から抱えている問題でもあり、対応と対策が難しい。新型コロナウイルスの影響は感じられない。</p> <p>(3) 高校では、精神的な悩みを抱えている生徒に対しては、担任ではなくスクールカウンセラーに任せている。スクールカウンセラーが週に1回来校し、生徒本人の希望、保護者からの依頼、担任の紹介などさまざまな形で相談を行っている。スクールカウンセラーは資格を持ち、知識と経験が豊富なので、安心して任せられる。この実現が難しいようであれば、東京都が開催している研修会などに参加するのも良いと思う。</p> <p>(4) 相変わらず高い就職率と高い資格の合格率でとても素晴らしい。半面、技術系の検定試験にあたるグルーミング検定の合格率をさらに高めていってもらうことを期待している。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか</p> <p>本学では、就職相談室を設け、就職担当者及びクラス担任が学生の就職相談、履歴書の書き方、就職先の選択、会社訪問、面接対策などの指導を行っている。また、人事担当者を招き学内就職セミナー等を実施し、対面とオンラインのハイブリッド開催による企業説明会を実施した。</p> <p>ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか</p> <p>学生は、様々な悩みを持っている。それらの相談はまずクラス担任にするが、担任に話せない事柄もあり、その時は、学生相談室が設けられているので、学生は相談室の担当者に相談している。学生相談室は、匿名での電話相談にも応じており、保護者からの相談はクラス担任だけでなく、学生相談室や就職相談室も利用できるようになっている。</p> <p>ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか</p> <p>学生の経済的側面に対する支援体制として特別奨学生試験、各種特待生制度、経済的理由による修学支援奨学生制度や延納制度を設けている。これらの制度はすべて、貸与ではなく給付となっている。本学は引き続き、高等教育無償化の修学支援対象校として認定されている。</p> <p>ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか</p> <p>学校保健安全法に基づく健康診断を年に1回4月から6月の間に全学生を対象に実施している。また、指定病院が学生の健康相談などに応じている。</p> <p>学生の健康面については、登校時の体温チェック、体調チェックシートへの記帳、を継続し、感染症予防対策を実施している。</p> <p>ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか</p> <p>野球部、サッカー部、バスケットボール部、バレーボール部、テニス部、ブラスバンド部、バドミントン部、応援団、チアリーダーなどのクラブ活動が存在している。活動回数は減ったが、学生主体で実施し、教職員が助言、指導をしてい</p>

	<p>る。</p> <p>へ. 学生の生活環境への支援は行われているか</p> <p>遠隔地出身者のための学生寮などの学生に対する生活環境支援は必要であるため、学生寮運営に実績のある会社の寮を学校提携寮として学生に紹介している。</p> <p>ト. 保護者と適切に連携しているか</p> <p>学生に対して適切な指導、相談を行うためにも、出席状況、成績表、相談室のお知らせ等を年に4回保護者様に送付している。また、必要に応じて保護者様に連絡を取り、面談をしながら学生の指導を行っており、その内容は学務システムに入力し、教員間で共有している。</p> <p>チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</p> <p>基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の質問があった。</p> <p>(1)「ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか」に関し、学生相談室にはどのくらいの相談件数があるのか。</p> <p>【回答】 相談件数はゼロであった。学生からの相談も、保護者からの相談もなかった。担任が学生からの疑問や不安の相談を受けて吸収し、他の教員と協力しながらそれらが解消できている証である。しかし、相談ができない、相談の仕方がわからないような学生が出てくる可能性もあるので、引き続き、学生への声掛けを怠らないようにしていく。</p> <p>(2) 保護者との連携は具体的にどのように行っているのか。</p> <p>【回答】 基本的には電話にて連携をとっている。無断欠席した場合の他、体調がすぐれない様子が見受けられた場合、何かに悩んでいるように思われた場合、学習指導上注意した場合、犬に噛まれるなどのケガをした場合など、密に連絡をとっている。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか</p> <p>設置基準に基づき教室、実習室、教員室、事務室などを設置し、維持管理については定期的な点検整備を行い、学内に担当者を置き、専門業者に定期的な点検整備を依頼、実施している。しかしながら、教育上支障がないとは言っても、教育上の必要性に十分対応できるようより一層整備していかなくてはならない。</p> <p>ロ. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか</p> <p>学内外の実習施設、海外研修等は中止した。今後は、ペットイベントへの参加、ドッグショーなどの見学、犬の訓練施設見学、動物施設等の学外実習については、学校全体での同時実施ではなく、クラス単位での実施や人数制限を行うなどしながら、参加人数について考慮しつつ実施していきたい。</p> <p>学生が希望するインターンシップ先を担任と協力して受け入れ活動を行っている。インターンシップ先でインターンシップ評価票を記入していただき、学生</p>

	<p>指導に反映している。</p> <p>ハ. 防災に対する体制は整備されているか</p> <p>防災指導担当者を校務分掌一覧に規定し、定期的に防災訓練を行い、自衛消防隊を組織し、防火管理者を置き、消防計画を立てている。しかしながら、大規模災害等いつ何が起こるか分からない状況を考えると、災害時対応マニュアルを更に整備する必要がある、さらに災害時対応のみならず、不審者対応のマニュアル作成なども必要である。</p> <p>基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の質問があった。</p> <p>(1)実際に学生達のインターンシップの評価はどのような結果になっているのか。 【回答】ほとんどの学生が良い評価を頂いている。しかし、1～2%の学生は気になる評価をされてしまっている。原因は遅刻や休憩時間中の態度など、インターンシップへの意識の低さが原因である。全員が良い評価が得られるような指導を徹底していく。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ. 学生募集活動は適正に行われているか</p> <p>入学案内書、媒体誌、ホームページ、テレビ広告は、毎年きちんと把握している合格状況や就職率に基づき作成し、正確でわかりやすい表現になっている。その結果、募集定員を充足することができている。</p> <p>ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>入学案内書やガイドブック作成にあつてはその内容や表現において真実性、明瞭性、法令遵守が必要であることを認識し広報を中心に作成している。そのために具体的な数字を示すことや、本人の了承を得て氏名を公表することにより志望者や保護者からの信頼を得られる内容になっている。また、高校を卒業後すぐに入学される方が多いのでその点にこだわった表現にもなっている。少子化時代があり、募集定員を満たすことが難しくなっていくが、今後も志望者のニーズに合わせた学校運営を行っていく。</p> <p>ハ. 学納金は妥当なものとなっているか</p> <p>本学は法人単位での財務公開体制をとっており学納金が適正かつ公正に使用されていることを明らかにしている。現状は問題ないと思われるが、社会状況の変化を絶えず見据えながら検討していく必要があり、変更が必要な場合理事会・評議員会の承認を経て学則を変更する。</p> <p>基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の質問意見があった。</p> <p>(1)留学生の募集に関して、どのように行っているのか。他校様の留学生が当院のインターンシップに来て就職を希望するのだが、就労ビザが下りないことを知らないケースが毎年見られる。貴学は募集の際に、どのように説明しているのか。 【回答】留学生が本学への入学を希望する際には、必ず面談をして、就労ビザが下りない（日本での就職はできない）ことを伝えている。日本でトリミング技術を</p>

	<p>学んで、自国で広めることはとても素晴らしいことなので、こうしたことを確認したうえで、選考を進めるようにしている。</p> <p>(2)学納金は、他の専門学校と比べてどうなのでしょう。</p> <p>【回答】他校より低いと思われる。保護者様からも、特定の学校と比較すると年間で20～30万低いとの声が聞かれる。</p> <p>(3)AO入学の面談において、やる気を中心に可否を判定するとあるが、どのようなところを評価しているのか。</p> <p>【回答】AO入学に関わる面談の評価基準は、本学に入学したいという強い熱意、入学目的、取得資格などが明確であること、学習意欲が旺盛でチャレンジ精神があること。などを判断基準としている。そのため、さまざまなレベルの学生が入学してくるが、一定レベル以上の成績がないと入学ができないといった学校ではなく、やる気を尊重する学校でありたいと考えている。</p>
<p>基準8 財務</p>	<p>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>財務全般についてであるが、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められており、予算の編成は適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。会計監査については、監事2名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。私立学校法第47条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。</p> <p>基準8についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準9 法令等の遵守</p>	<p>イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>「学生から信頼され支持される学校づくり」を基本方針に、法令遵守規程を作成し、教職員に徹底している。また、法令遵守推進管理者をおき、法令遵守の推進を図っている。また例年、外部講師を招いて人権研修を実施している。今年度はオンラインで研修を受講した。本学は動物取扱業として東京都に登録しており、動物取扱責任者を選任し必要な知識や技術を習得している。</p> <p>ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> <p>個人情報保護規程を設定しており、プライバシーポリシーを設定し、入学時に配布する「専門課程便覧」に公開している。また、学校の保有する情報を委託業者に取り扱わせる際も覚書等で保護の徹底を行っている。教職員には規程の遵守はもとより、インターネット使用時の暗号化なども徹底しており、学生には担任を通じて適宜該当する情報を伝えている。</p> <p>ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>本学では「自己点検・自己評価委員会」を設置し、学校評価研究機構の基準に</p>

	<p>より、点検、評価を行っている。令和3年度分は、令和4年2月5日に実施した。問題点は軽視せず、自己評価において「ほぼ適切」以下の項目についての改善に努めている。</p> <p>ニ. 自己評価結果を公開しているか</p> <p>自己点検・自己評価の結果を「自己評価表」としてホームページ上で公開しており、学校関係者評価委員会で報告し、評価を頂いている。</p> <p>基準9についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか</p> <p>学校の教育資源や施設を活用した地域に対する公開講座などを実施していく必要がある。</p> <p>ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p> <p>開校時より、家庭飼育犬をモデル犬として無料でグルーミングを行っている。また、学生のボランティア活動を奨励、支援し、その活動状況を把握し評価している。具体的には学生の校舎外の近隣清掃を開校時から行っており、清掃活動は近隣住民からも好評である。</p> <p>ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>学校が所有する資産を近隣住民に提供することは必要であると考えているが、まだまだ課題が残っている。</p> <p>基準10についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価された。</p>

〔総括的な意見〕

- (1) コロナ禍においても、授業を工夫しながら、高い就職率と資格の高い合格率を継続させていることはとても素晴らしい。イベントも少しずつ再開し、コロナ禍に怯まない先生方の様子を今回の報告で知ることができた。学生のために前向きに取り組んでいる姿勢が見受けられ、卒業生としてとてもうれしい限りである。
- (2) コロナの影響か、最近のインターンシップ実習生は、挨拶に元気がなくなっている。コミュニケーションを取ることが最重要事項であることは言うまでもないが、貴学では家庭犬の受入れを通して近隣住民とのコミュニケーションを積極的に行い、接客・接遇能力を育成していく姿勢がとても素晴らしい。コロナの影響で萎縮することなく、脱却を図ろうとする学校の姿勢が見られた。
- (3) 貴学の卒業生はやはり素晴らしい。当社でも活躍してくれている。採用面接では明るく元気に挨拶ができていても、採用後の現場でトーンが下がってしまうことがあるが、そのようなことがない。引き続き、自分の考えを自分の言葉で言える学生を育成していただきたい。すれ違う学生たちの挨拶も素晴らしかった。
- (4) 希望を胸に抱いて入学してくる貴学の学生を、最大限に活かしてあげてほしい。またそれができる学校であるので、本校からも安心して送り出せる。